

ME ドライバー アップデート手順書

公開日：2023年2月21日

アップデートの前に

【対象の OS バージョン】

Windows10 バージョン 1809 以降 もしくは Windows11 が対象です。

Windows10 をご使用の場合は、以下の手順に従ってバージョンを確認してください。

- (1) 「Windows キー + R」を押して、「winver」と入力し、「Enter」を押します。
- (2) 以下の赤枠の部分が“1809”以上の数字であれば、バージョン 1809 以降の OS です。



【対象機種品番】

本ソフトウェアによるドライバーのアップデートは、以下の機種品番が対象になります。

機種	対象品番
CF-RZ5 シリーズ	CF-RZ5 [A/B/P/Q] シリーズ (*1) CF-RZ5 [C/G/H/V/W/Y] シリーズ (*2)
CF-SZ5 シリーズ	CF-SZ5 [A/B/P/Q] シリーズ (*1) CF-SZ5 [G/H/J/V/W/X/Y/Z] シリーズ (*2)
CF-LX5 シリーズ	CF-LX5 [A/B/P/Q] シリーズ (*1) CF-LX5 [G/H/J/V/W/X/Y/Z] シリーズ (*2)
CF-MX5 シリーズ	CF-MX5 [A/B/P/Q] シリーズ (*1) CF-MX5 [G/H/J/W/X/Y/Z] シリーズ (*2)
FZ-G1 シリーズ	FZ-G1 [R/W] シリーズ (*1)
FZ-M1 シリーズ	FZ-M1 [F/J] シリーズ (*1)
CF-20 シリーズ	CF-20 [A/E/G] シリーズ (*1)
CF-LV7 シリーズ	CF-LV7 [7/8/E/F/R] シリーズ (*1) CF-LV7 [2/3/C/D/H/J] シリーズ (*2)
CF-SV7 シリーズ	CF-SV7 [7/8/R/S/T/U] シリーズ (*1) CF-SV7 [2/3/H/J/L/M] シリーズ (*2)
CF-XZ6 シリーズ	CF-XZ6 [E/F/R/S/T/U/W/X/Y/Z/7/8] シリーズ (*1) CF-XZ6 [2/B/C/D/H/K/L/P/Q] シリーズ (*2)
CF-RZ6 シリーズ	CF-RZ6 [7/8/R/S/T/U/W/X/Y/Z] シリーズ (*1) CF-RZ6 [1/2/A/B/C/D/E/F/G/H/K/L/N/P/Q] シリーズ (*2)
CF-RZ8 シリーズ	CF-RZ8 [A/B/C/D/E/F/G/H/K/N/P/Q/Z] シリーズ (*2)
CF-SZ6 シリーズ	CF-SZ6 [R/S/W/X/Y/Z] シリーズ (*1) CF-SZ6 [A/B/C/E/F/G/H/J/N/P/Q] シリーズ (*2)
CF-LX6 シリーズ	CF-LX6 [R/S/T/U/W/X/Y/Z] シリーズ (*1) CF-LX6 [B/C/E/F/G/H/J/L/M/P/Q] シリーズ (*2)
CF-33 シリーズ	CF-33 [A] シリーズ (*1)

(*1) と (*2) のシリーズではアップデートするドライバーが異なります。

【更新後のバージョン】

本ソフトウェアにより、各ドライバーは以下のバージョンにアップデートされます。

- Management Engine Interface : 2220.3.1.0
- Dynamic Application Loader Host Interface : 1.41.2021.0121
- iCLS Client : 1.62.321.1

【対象機種品番】の表中の(*1)のシリーズの場合、追加で以下のドライバーもアップデートされます。

- Active Management Technology - SOL : 2219.3.0.0
- Management and Security Application Local Management : 2227.3.3.0

全てのドライバーが更新後のバージョンになっている場合はアップデートする必要はありません。

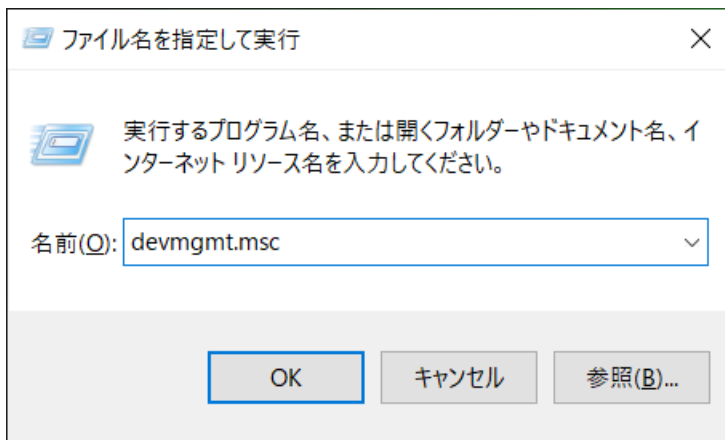
これ以降、Windows10での画面を例に説明します。

ドライバーバージョンの確認方法

ドライバーバージョンの確認は、“Management Engine Interface” と “Active Management Technology - SQL” は[デバイスマネージャー]から、それ以外のドライバーは[サービス]からご確認いただけます。

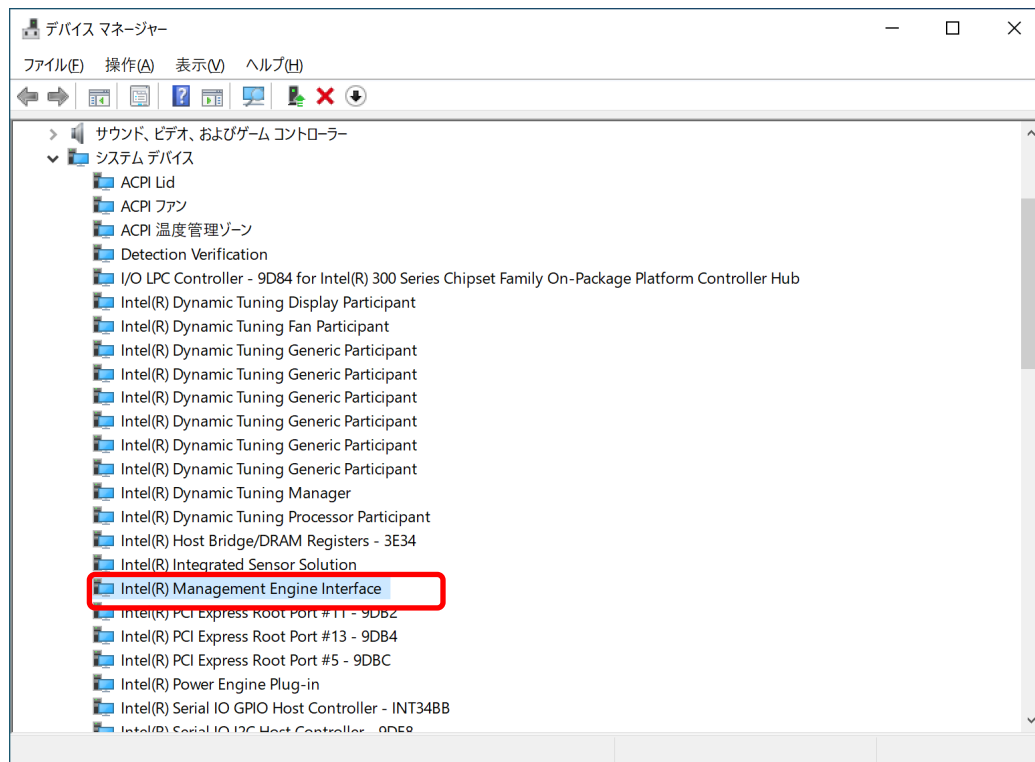
[デバイスマネージャー]でのドライバー確認方法

- (1) Windows を起動します。
- (2) デスクトップ画面で「Windows キー + R」を押し、“ファイル名を指定して実行”を開きます。
- (3) “devmgmt.msc” と入力した後「Enter」を押し、「デバイスマネージャー」を起動します。

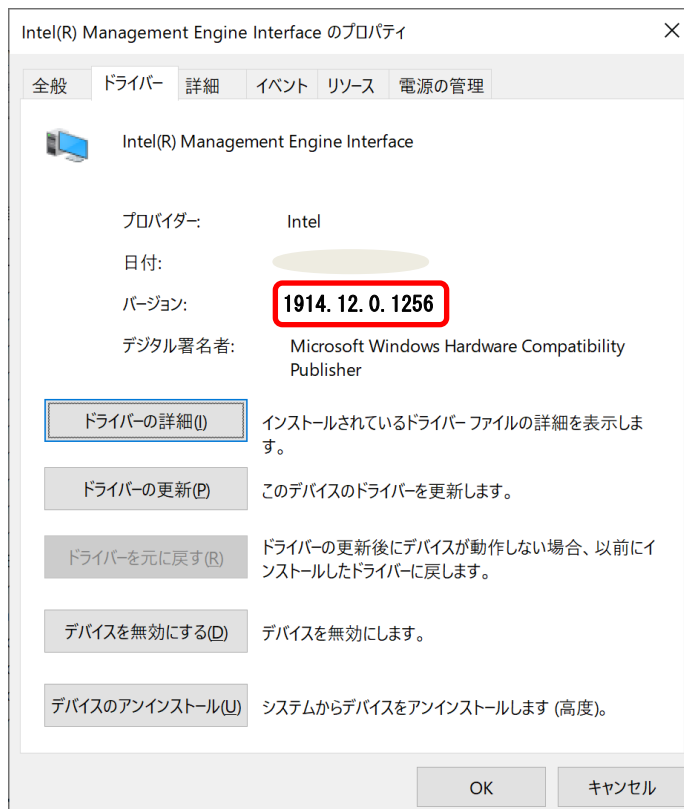


【Management Engine Interface ドライバーバージョンの確認方法】

[システムデバイス]をダブルクリックし、[Intel (R) Management Engine Interface]をダブルクリックして下さい。

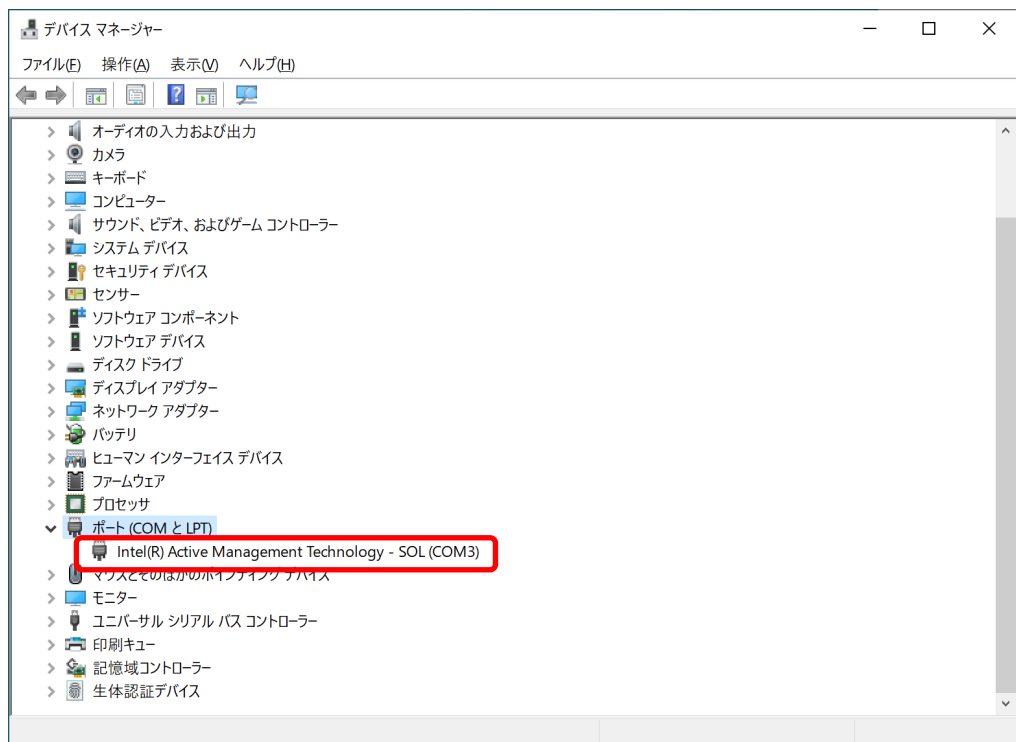


[ドライバー]タブをクリックし、バージョンの欄に表示されているのが使用されているドライバーのバージョンです。

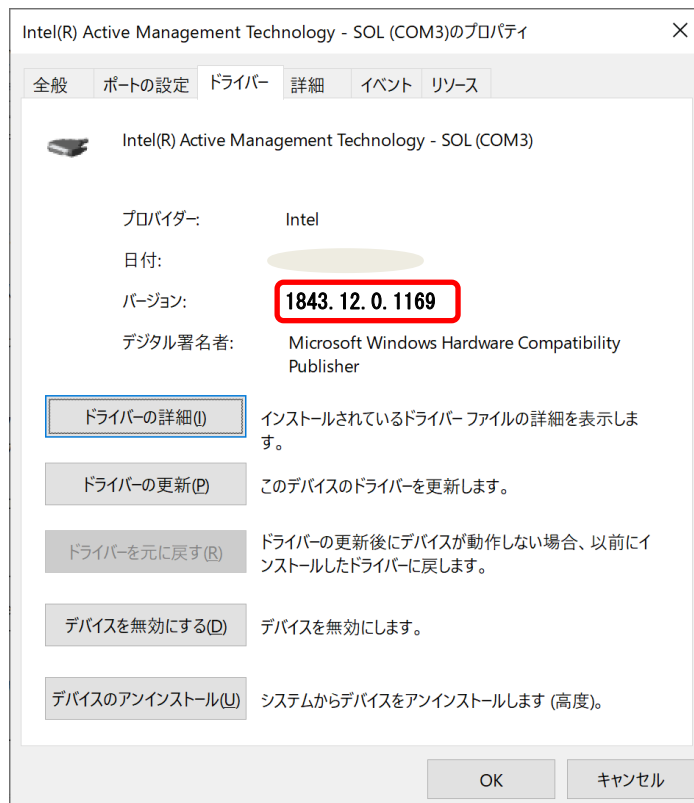


【Active Management Technology - SOL ドライバーバージョンの確認方法】

[ポート (COM と LPT)] をダブルクリックし、[Intel (R) Active Management Technology - SOL] をダブルクリックして下さい。

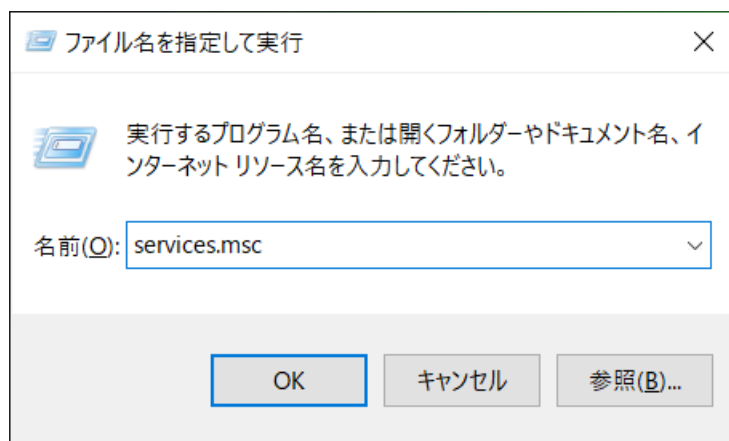


[ドライバー] タブをクリックし、バージョンの欄に表示されているのが使用されているドライバーのバージョンです。



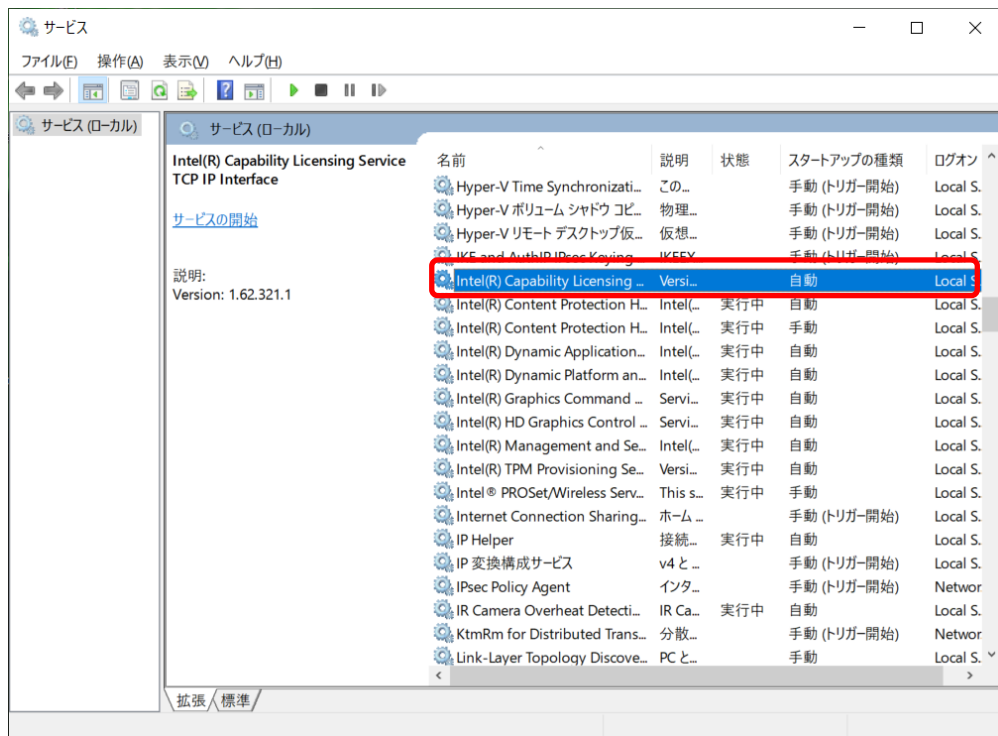
[サービス]でのドライバー確認方法

- (1) Windows を起動します。
- (2) デスクトップ画面で「Windows キー + R」を押し、“ファイル名を指定して実行”を開きます。
- (3) “services.msc” と入力した後「Enter」を押し、「サービス」を起動します。



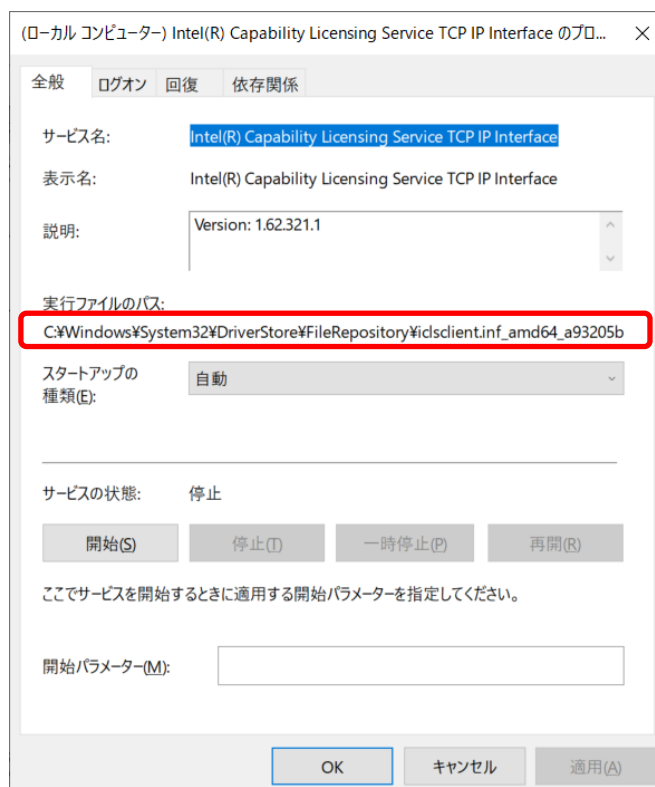
【iCLS Client ドライババージョンの確認方法】

「サービス」画面のサービス一覧より、「Intel(R) Capability Licensing Service TCP IP Interface」をダブルクリックしプロパティ画面を表示します。

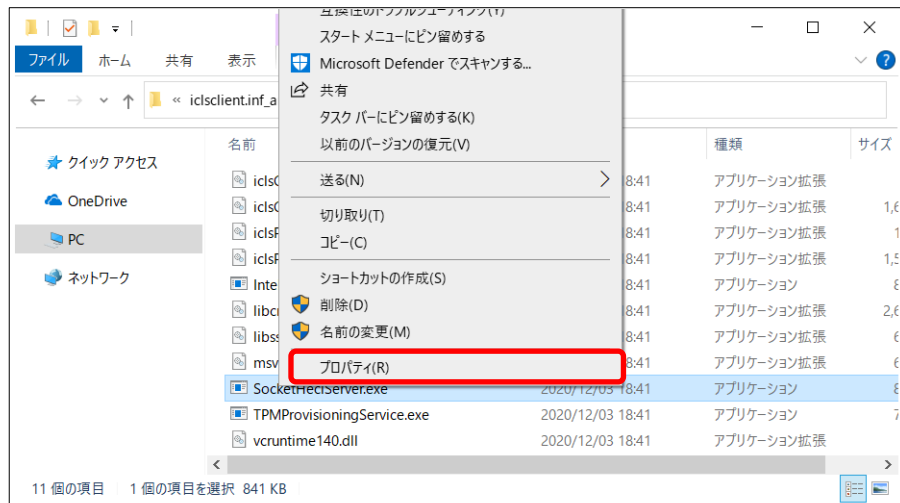


プロパティ画面で表示されている実行ファイルパスの1つ上のフォルダーを開きます。

(例: 「C:\Program Files\Intel\Intel (R) Management Engine Components\iCLS\SocketHeciServer.exe」と記載の場合は「C:\Program Files\Intel\Intel (R) Management Engine Components\iCLS」を開く。)

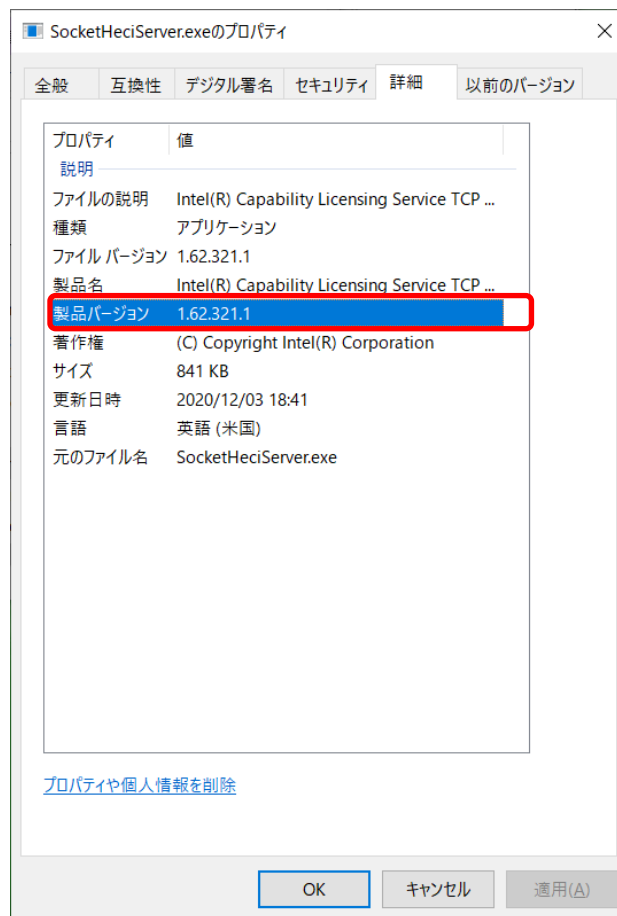


開いたフォルダー上で「SocketHeciServer」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。



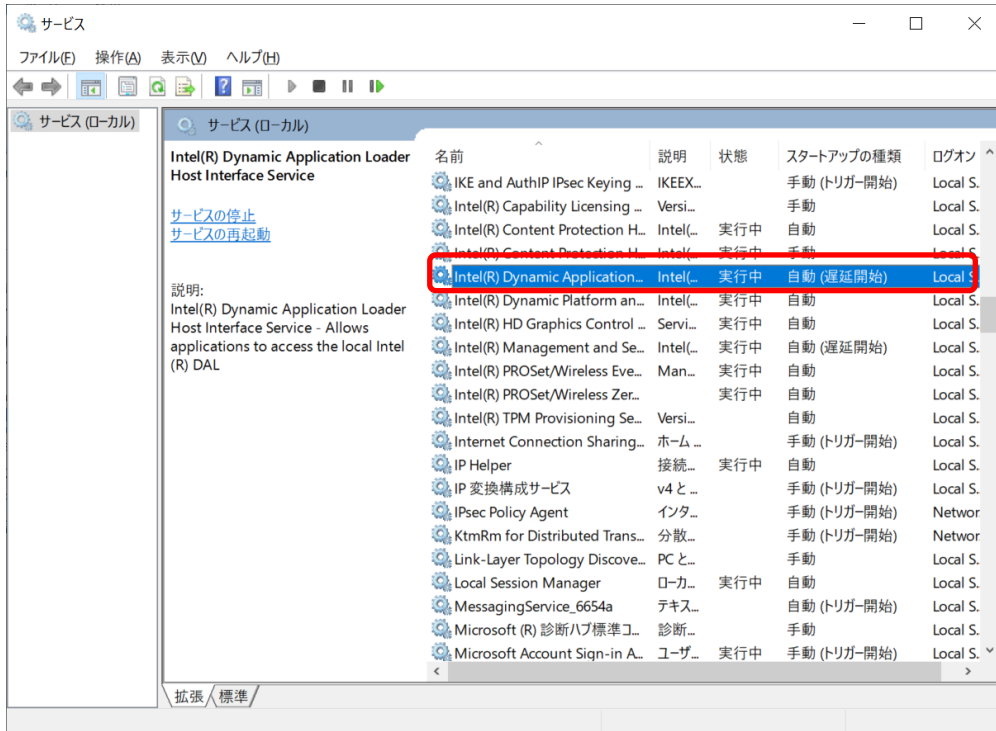
プロパティ画面で詳細タブを選択します。

表示されている製品バージョンが使用されているドライバーのバージョンになります。



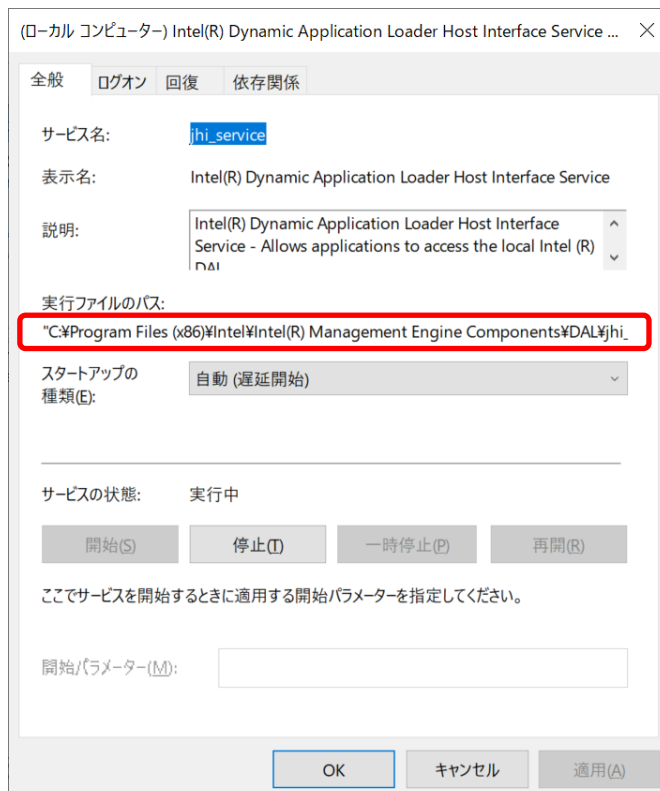
【Dynamic Application Loader Host Interface ドライバーバージョンの確認方法】

「サービス」画面のサービス一覧より、「Intel (R) Dynamic Application Loader Host Interface Service」をダブルクリックしプロパティ画面を表示します。

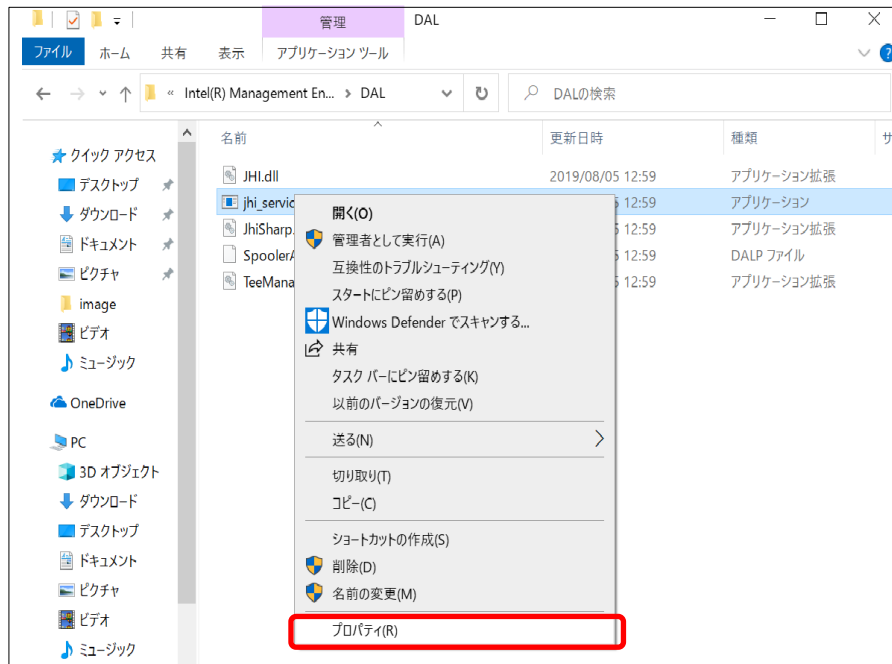


プロパティ画面で表示されている実行ファイルパスの 1 つ上のフォルダーを開きます。

(例 : 「C:\Program Files (x86)\Intel\Intel (R) Management Engine Components\DAL\jhi_service.exe」と記載の場合は「C:\Program Files (x86)\Intel\Intel (R) Management Engine Components\DAL」を開く。)

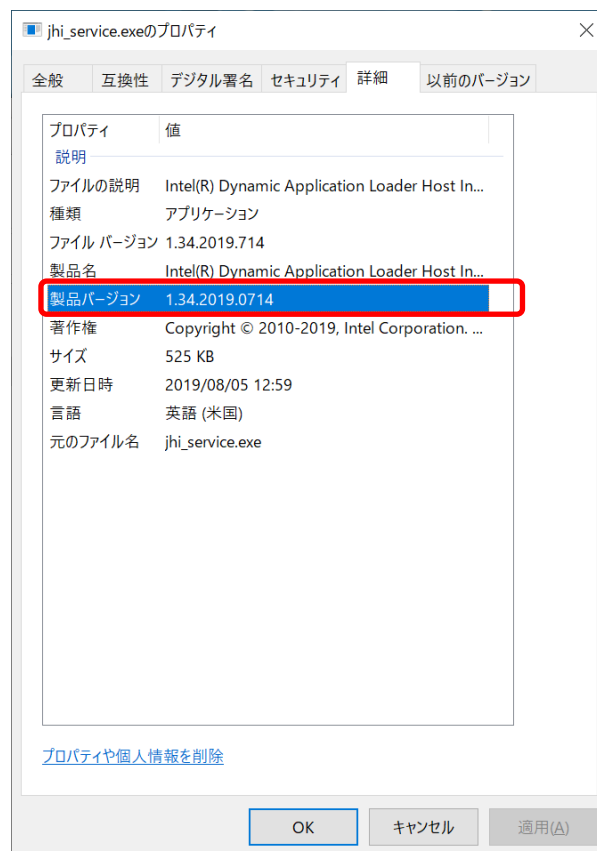


開いたフォルダー上で「jhi_service」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。



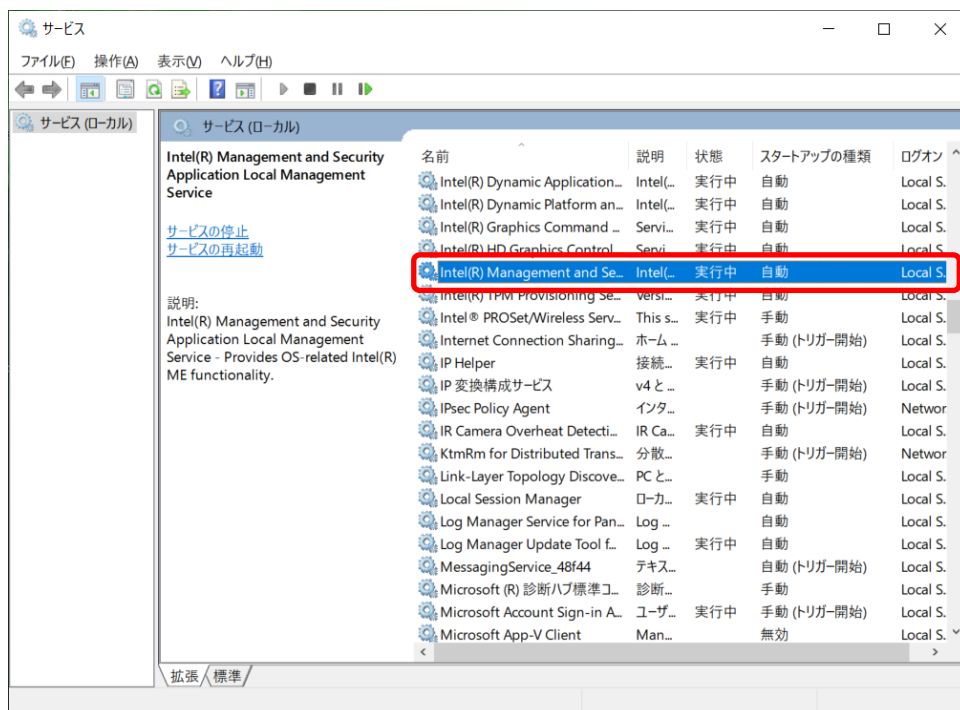
プロパティ画面で詳細タブを選択します。

表示されている製品バージョンが使用されているドライバーのバージョンになります。



【Management and Security Application Local Management ドライバーバージョンの確認方法】

「サービス」画面のサービス一覧より、「Intel (R) Management and Security Application Local Management Service」をダブルクリックしプロパティ画面を表示します。

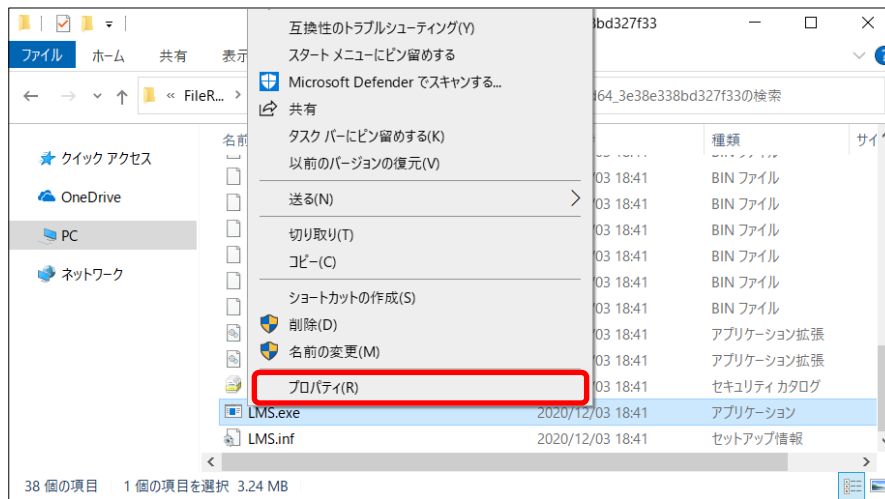


プロパティ画面で表示されている実行ファイルパスの1つ上のフォルダーを開きます。

(例 : 「C:\Program Files (x86)\Intel\Intel (R) Management Engine Components\LMS\LMS.exe」と記載の場合には「C:\Program Files (x86)\Intel\Intel (R) Management Engine Components\LMS」を開く。)



開いたフォルダー上で「LMS.exe」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。



プロパティ画面で詳細タブを選択します。

表示されている製品バージョンが使用されているドライバーのバージョンになります。



アップデート手順の概略

アップデートは下記の流れで行います。

【アップデートの流れ】

- (A) アップデートプログラムをダウンロードする。
- (B) ダウンロードしたプログラムを実行し、ファイルを展開する。
- (C) 展開したファイル中のインストールバッチファイルを実行し、アップデートする。
- (D) ドライバーバージョンの確認

【ご注意】

本プログラムを実行する際は、必ず「**管理者**」の権限のユーザーでログオンしてください。

(ユーザーの切り替え機能を使わずに「**管理者**」の権限でログオンして操作してください。)

ACアダプター、および十分に充電されたバッテリーパックを接続してください。

アップデート手順

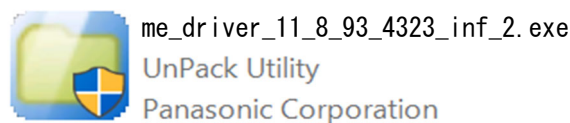
(A) アップデートプログラムをダウンロードする。

ME ドライバーをアップデートするためには、まず、ダウンロードページに掲載されているプログラムをダウンロードします。

(B) ダウンロードしたプログラムを実行し、ファイルを展開する。

ダウンロードしたプログラムを対象機種種の Windows 上で実行し、作業用フォルダーにアップデートプログラムを展開します。

(1) ダウンロードしたプログラムをダブルクリックして実行します。



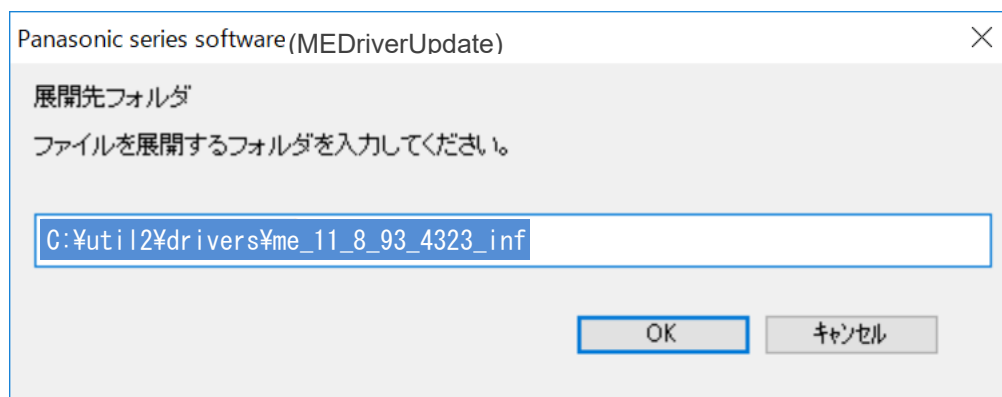
「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、[はい] をクリックしてください。

(2) エンドユーザーライセンス条項の画面が表示されますので、内容をよくお読みいただき、[はい]をクリックしてください。

(3) 展開先フォルダーを設定する画面が表示されます。作業用フォルダーは、プログラムが自動的に作成しますので、特に変更する必要はありません。

展開先フォルダーは標準では「C:¥util2¥drivers¥me_11_8_93_4323_inf」が設定されています。

[OK]を押下してください。



既に展開先フォルダーと同名のフォルダーが作成されている場合は下記のダイアログが表示されます。



上記の場合、[はい]を押下してください。

今回のアップデートに使用するファイルがフォルダーに追加されます。

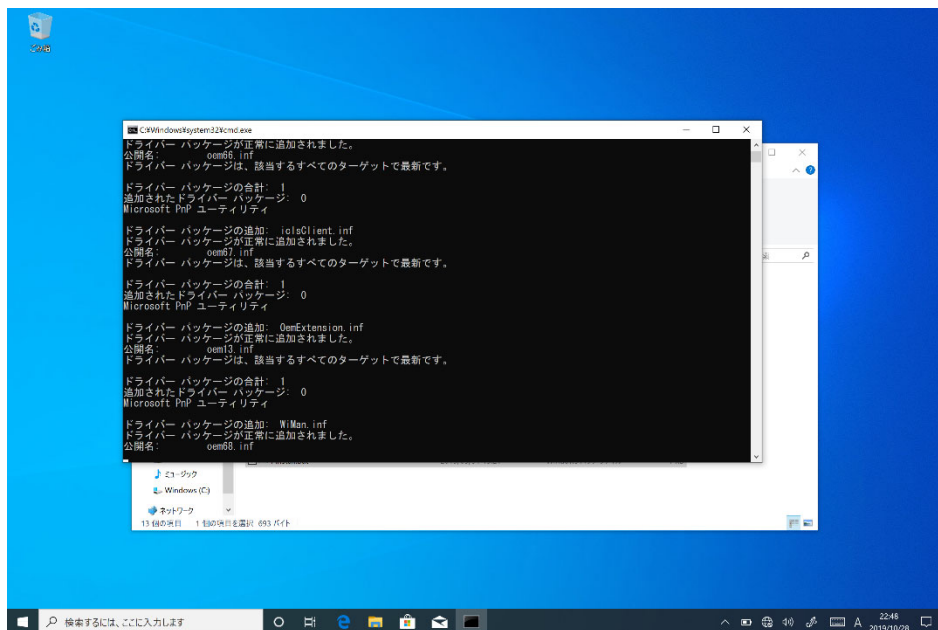
- (4) しばらくすると展開が完了し、展開先のフォルダー（標準では C:¥util2¥drivers¥me_11_8_93_4323_inf）が自動的に表示されます。

(C) 展開したファイル中のインストールバッチファイルを実行しアップデートする。

- (1) ME driver のアップデートプログラムが展開されたフォルダー（標準では C:\util2\drivers\me_11_8_93_4323_inf)で、Pinstall.bat ファイルを右クリックし” 管理者として実行(A)” を左クリックします。

「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、[はい] をクリックしてください。

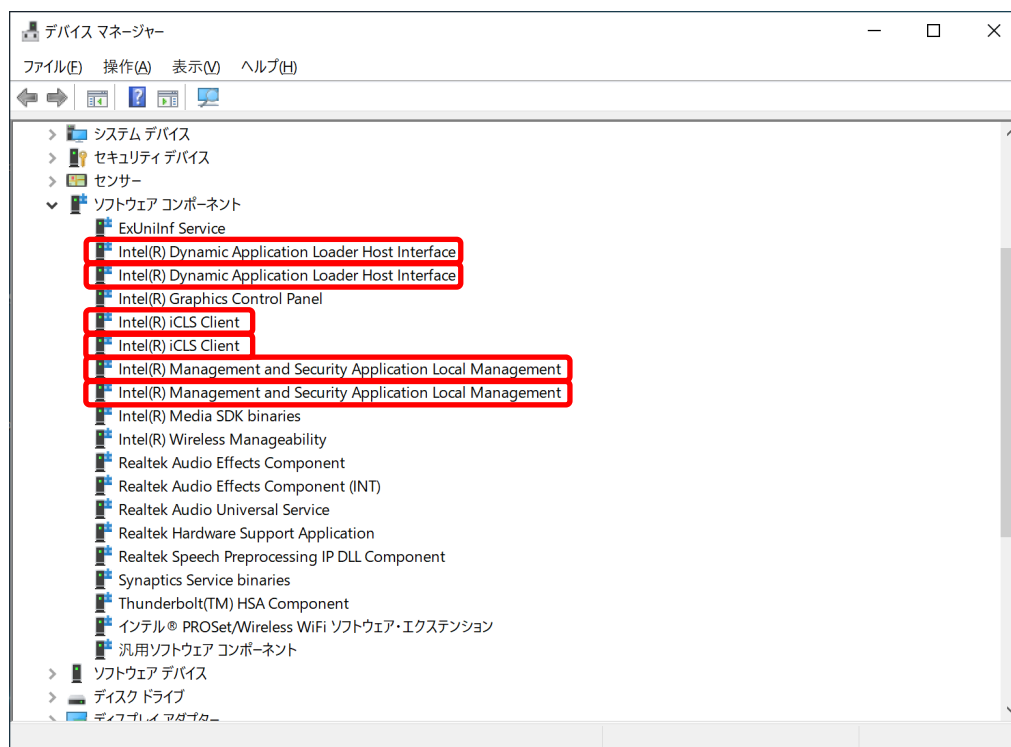
- (2) コンソール画面が表示され、自動的にインストールが実行されます。
コンソール画面が閉じるとインストールは完了です。
インストール完了後、Windows を再起動して下さい。



(D) ドライバーバージョンの確認

ドライバーバージョンの確認方法を参考に、アップデート後に各種ドライバーバージョンが【更新後のバージョン】に更新されている事を確認して下さい。

アップデート後は、下図のように “Dynamic Application Loader Host Interface” “iCLS Client” “Management and Security Application Local Management” がデバイスマネージャー上に2つずつ表示されることがありますが、問題ありません。どちらのデバイスも、同じドライバーバージョンになります。



以上